

岐阜県立恵那農業高等学校

学校長 柴 成吉

学校住所 岐阜県恵那市大井町2625番地の17 電話 0573-26-1251

1 会議名 恵那農業高等学校 学校運営協議会 (第1回)

2 開催日時 令和7年6月13日(金)

3 開催場所 恵那農業高等学校

4 委 員

- 大宮 康一 岐阜大学地域協学センター准教授
- 宮田 和也 岐阜県立国際園芸アカデミー副学長
- 岡庭 隆 保護司
- 小椋日南恵 えな「たべる」プロジェクトアドバイザー
- 伊藤 政之 恵那市立恵那西中学校長
- 吉村 彰夫 恵那市立大井第二小学校長
- 丸山 鮎美 卒業生保護者
- 伊藤 智穂 在校生保護者

学 校 側	柴 成吉 校長	水野 歩 教頭
	坪内 芳憲 事務長	堅野 剛史 教務主任
	野々目佳世 進路指導部長	河島 隆浩 生徒指導部長
	今井 章文 特別活動部長	野村 祐作 農場長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校経営計画および教育課程の編成に関する事項

- ① 教育指導の重点及び学校経営計画
- ② 指導の方針と重点
 - *教務部(教育課程表)
 - *生徒指導部
 - *進路指導部(過去3年間の進路状況)
 - *特別活動部
 - *農場部

(2) 学校の組織編成に関する事項

- ① 令和7年度教職員
- ② 学校運営機構及び農場部運営機構
- ③ 部活動

6 外部委員からの意見

①令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画について

- ・群募集や新学科に学習の体制が変わっても、農業高校の特色を活かして、社会に向かって行く生徒たちを育ててほしい。
- ・今年度の計画も生徒らの将来を考えた時に、とても丁寧なものである。

②学習活動に関する取組について

- ・高校における教養教育は社会にとって重要なことである。生徒自身が学びをどうとらえるか、高校で学んだことを活かして社会でどう使うか、学び方についても指導してほしい。
- ・ICTについては変化が大きく、大学生でも同じであるが、PCに不慣れな傾向にある。社会に出ると必要なスキルであり、メールなども含め、正しく使いこなすことが求められる。
- ・部活動については部活動数の調整も行われているようであるが、現場で生徒の指導に当たる先生にどれだけのゆとりがあるかも大きい要素である。専門的な技術の獲得や意欲を向上させる環境が大切である。そのことが活気ある学校づくりにつながることを先生方の共通認識としてほしい。

③進路指導に関する取組について

- ・恵那農業高校の生徒は地域の企業から即戦力として期待されている。地域の大きな労働力となっている。
- ・恵那農業高校の卒業生は地域において信頼性も高い。これからも地域に根差した生徒を輩出してほしい。

④生徒指導に関する取組について

- ・いじめ問題について0件はありえないという考えのもと、しっかりと調査をされているということだが、その場合における保護者への説明と、それに関する対話を大切にしてほしい。
- ・校則についてもいろいろと希望があると思うが、生徒の希望だからすべて通るということではないと思う。しかし、そういう場面において生徒が言える力、伝える力をつけていく良い機会となる。

⑤農場部に関する取組について

- ・学習の中で新しい技術を踏まえた学びがされておりよいと思う。時代とともに変化していくので大変かと思うが生徒のために継続してほしい。
- ・それぞれの学科において特色ある活動を通し、一人一人が得意なことを見つけ、様々な場面で発揮できたらよい。
- ・出前講座など地域と連携、協力して行われている。小中学生のうちはしてもらえる幸せを感じ、高校生になるとしてあげる幸せに変化し、それが社会に対する貢献度となる。こうした取組みを継続してほしい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、今年度の学校運営方針について承認を得られた。
- ・本校への地域からの期待や高い評価が得られた。
- ・今後、学校づくりを行う上で、必要なこととしてゆとり、対話、信頼などのキーワードが得られた。これらを教育指導と学校経営に反映させ、学校づくりを行いたい。